

## 平成31年度 学校自己評価表（計画段階・実施段階）

福岡県立田川科学技術高等学校長 印

85

学校運営計画（4月）		評価（3月）		
学校運営方針	開校からの建学の精神を継承し、本校の基本方針を中心に据え、教育活動において基礎・基本を大切にし、心豊かで意欲があり、社会に貢献できる生徒を育成し、保護者や地域に信頼され、支援される学校づくりを行う。			
昨年度の成果と課題	本年度重点目標	具体的目標		
好調な求人状況を受け、生徒の勤労意欲をさらに高めることができるように、就職・進学に関するキャリアガイダンスを活発化させた。また、各教科の授業において、生徒が主体的に参加できるようICTを活用した授業などを積極的に導入・実践した。さらに、遅刻及び欠席生徒数の減少に向けた取組を行ったが、十分な効果が示せなかった。授業の在り方、評価方法並びに遅刻者指導等の具体的な方策を改善する。	希望進路実現のため、わかる授業及び基礎学力定着に向けた取組により、個性や能力を伸ばす指導をとおして、自ら学ぶ意欲と態度を育て、学力の向上を図る。	授業規律の確立に努めるとともに、振り返り学習や習熟度別少人数授業の活用と教材研究等により、基礎学力の向上、生徒一人ひとりの興味関心や実践的創造力の高揚、知識・技能の習得を図る。また、資格・検定試験の奨励等により、自ら学ぶ意欲や態度を育てる。		
	本校生徒としての自覚と自律の意識を高め、人権が尊重される教育活動を推進し、安全・安心で充実した学校生活を送られるようにする。	人権が尊重される学校づくりに努め、命と健康、安全を大切にした教育活動を行う。また、生徒会活動や学校行事、部活動をとおして、本校生としての誇りと自覚を持たせる。さらに、合理的配慮を理解し、充実したインクルーシブ教育を推進する。		
	道徳教育を推進し、生徒達が希望と目標に向かって生き生きと活動できる教育内容づくりに努め、生徒の自尊感情を高める。	社会に通用できるよう、時間の厳守や身だしなみ（服装頭髪）、マナー（挨拶、言葉遣い、態度等）指導を強化し、基本的生活習慣を身に付けさせる。また、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、就学支援の充実や特別支援教育を推進する。		
	生徒の家庭環境を含め生活背景の情報共有を基盤に、課題解決に向けた組織的・機動的な教育活動を推進する。	分掌・学年・学科間及び教員間の連携、家庭との連携を強化し、教育相談や生徒理解により、中途退学防止に努める。		
	保護者・地域と連携し、地域唯一の専門高校としての教育活動を推進し、地域に開かれた学校づくりを進める。	生徒一人ひとりの興味・関心を高め、土木コースを含め各専攻の特色を生かした作品制作、物品販売、ものづくり教室等により、地域に開かれた学校づくりを進める。		
開校20周年を見据え、すべての生徒が田川科技高生としての自覚と誇りを高めることができるよう、実学を重視した教育活動を行う。	将来を見通したキャリア教育を中心に、授業や学校行事、部活動などの教育活動及び地域の各種行事にも積極的に参加することで、全生徒が本校生徒としての誇りを抱き、自己有用感、自己肯定感などを感じて本校生徒としての自覚を持ち、希望進路の実現に努める。			
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価（3月）	次年度の主な課題
推進体制	本校の教育課題解決に向けて全職員による機能的、効果的な組織化により本校活性化を推進する。	学校運営方針を基本とし、全職員の共通認識のもと、組織的・機能的な指導体制を進め、総合型産業高校の専門性を生かした特色ある教育活動を推進する。また、広報活動等を強化して、地域からの信頼を得るとともに生徒募集活動を推進する。		
教 務	生徒の実態に即した、わかる授業の展開並びに基礎・基本の定着を図るとともに授業方法や評価の改善を行う。また、基本的な授業規律の徹底を図るとともに、きめ細かな指導を実施することにより、中途退学並びに原級留置者の減少を図る。さらに、総合型産業高校として実態に即した特色ある教育課程の編成を行う。	各教科において、生徒の実態を踏まえ、生徒が興味・関心をもち、授業に積極的・主体的に取り組めるよう工夫・改善し、生徒の実態にあったよりきめの細かい指導を行う。		
		学科間やクラス内の学力格差なども考慮した考査問題作成を検討するとともに、各学期や学年末における追考査・補講の在り方、評価方法の検討・改善を行う。		
		義務教育段階の基礎学力定着に向け、本校生徒の実態に合った基礎学力向上の取組を全職員で行うとともに、授業規律の徹底に努める。		
		中途退学並びに原級留置生徒がいない状態を目指し、生徒の出席状況や授業態度などの状況把握に重点を置き、各分掌（担任団、学年、学科、人権・同和部等）との情報共有や連携を図り、学校全体で欠席生徒・遅刻生徒の昨年度比20%減少を目指す。		
生徒指導	社会に貢献できる人材育成のため、服装頭髪指導やマナー指導を徹底し、社会人・企業人としての基本的生活習慣を確立させるとともに、自己教育力の向上を図る。また、学校全体でいじめを決して許さないという共通認識をもつ。	考査前の頭髪・服装検査の実施及び学期始めに服装徹底週間を設定する。		
		登校指導、挨拶指導、巡回指導、並びにいじめ防止対策を強化、充実する。		
		学校での集団生活における自己教育力の向上を目指して、生徒会活動や部活動の充実と活性化を図り、地域での清掃活動やボランティア活動等を積極的に行う。また、「学校いじめ防止基本方針」に則り、アンケートの毎月実施や職員研修、生徒に関する情報共有などを通じて、いじめ防止に向けて組織的な対応を図る。		
進路指導	生徒に対する進路ガイダンスを充実させ、自己の将来像を見据えさせるとともに健全な勤労観や職業観を育成する。また、組織的な進路開拓や定着指導を実施し、進路実現を支援する。	進路意識の高揚を図るために、進路ガイダンスを計画的に実施し、全生徒が希望進路の実現100%を目指す。また、就職試験においては1次試験合格率95%以上を目指す。		
		健全な職業観、勤労観を育成するために、インターンシップを推進する。		
		進路資料の整備や的確な進路情報を発信することで「開かれた進路指導室」を目指し、進路指導室を有効に活用して、進路実現につなげる。		
研 修	生徒の人格形成に携わる教師の使命を自覚し、豊かな教育愛と実践的指導力を持った教師としての資質向上を目指した研修を推進する。	卒業生や企業担当者との面談を通し、進路先での定着指導を行う。		
		実態に即した研修計画により、教職員の研修意欲を喚起し、効果的な研修を実施する。		
		授業力及び教師としての資質の向上を目指した研修を計画し、特に、ICTの活用や生徒がより能動的に学ぶことができる学習手法を導入する。		
環境保健	心身ともに健康的な学校生活を送れるよう各種検診の実施や各教科との連携、カウンセリングの充実を図る。また、適切な学習環境の確保のため美化活動を充実させる。	各分掌・各科との連携を密にし、研究紀要の充実を図り、以後活用できる内容を目指す。		
		保健行事を円滑に実施できるよう計画的な活動を行うとともに、生徒の主体的な保健活動を促す指導を充実させる。		
		スクールカウンセラーと連携を図り、悩みを持つ生徒と積極的に関わりを持ち、問題解決に向けて取り組む。		
人権同和教育	人権が尊重される学校づくりを推進するために、豊かな人権感覚の育成、自ら学ぶ意欲と態度の育成を生徒の生活背景を踏まえて取り組む。	美化コンクールなど積極的な美化活動を充実させ、公共マナーを高める指導を実施する。		
		人権教育の全体計画を策定し、生徒の実態に応じた人権学習に取り組む。		
		教職員の人権感覚のさらなる向上を目指して、教職員研修を実施する。		
地域連携	広報活動を充実させ、産業高校の特色を生かし地域と連携した活動を行う。	生徒が抱える課題の早期発見・早期解決に向けて、学年・学科の担当者を配置する。		
		スクール・チャルワーカー・スクールカウンセラー等と連携して、生徒支援計画を策定し、実施する。		
		中学生・保護者及び地域に対し、本校の教育活動への理解を深めるため、3学科それぞれの専門性を生かした地域交流活動を行い、積極的に広報活動を行う。		
		開校20周年を見据え、すべての生徒が田川科技高生としての自覚と誇りを高め、地域から信頼される学校づくりを進めるために、地域事業に積極的に参加する。		